

<本発表に関すること>

管理課 樋口、杉江 電話：076-464-5410 (内線 121)

<本件に関すること>

看護学部看護学科 教授 竹内 登美子

電話：076-464-5410 (内線 880)

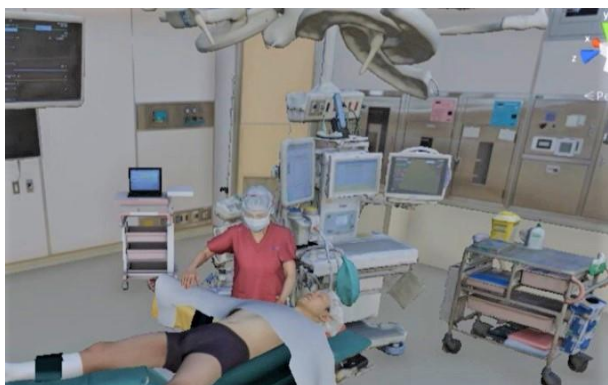
令和4年12月9日

日本初！3D 仮想空間で手術室看護技術を学ぶ 「VR 手術室看護システム」の開発について

看護学部看護学科では、文部科学省の大学改革推進等補助金「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業」を活用し、VR 技術を用いた 3D 仮想空間の中で手術室看護を学修できる「VR 手術室看護システム」を新たに開発しました。本システムを用いることで、新型コロナウイルス感染拡大の影響により実習の受入が困難となっている手術室での看護をリアルに学修することが可能になります。

この度、本システムを看護学科 4 年生が体験しますので、お知らせいたします。

- 日時 令和4年12月16日(金) 14時～15時
令和4年12月19日(月) 10時～11時
- 場所 富山県立大学富山キャンパス教育棟 307 成人・老年看護学実習室
- 内容 「VR 手術室看護システム」を用い、学生が病院の手術室を再現した 3D 仮想空間を移動しながら、体位固定や褥瘡予防等の手術室看護をバーチャル看護師の動きを観察することでリアルに学修します。



VR教材の一部：アバター看護師と患者



スライド動画教材の一部

- その他
 - 希望される場合は報道機関の方も体験可能です。
 - 取材を希望される場合は 12月15日(木) 17時までに
上記本発表担当者までご連絡ください。

新型コロナウイルス感染症の影響により、看護実習では学生の人数制限や時間短縮、学生の受入不可といった状況が続いています。具体的には、手術室や小児病棟等の入室不可による体験不足があり、看護経験不足を補う新しい教育方法の開発が課題となっています。今回導入した VR 手術室看護システムを用いることにより、学生があらゆる場所で繰り返し看護技術を学修することが可能になり、看護対象を理解する能力や看護過程を展開する能力、さらには看護実践できそうだという学修の構えを高めることを目指しています。